

2020/04/23

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

レジリエンス認証事務局

普及促進本部長 荒井 富美雄

レジリエンス認証制度について

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大や災害が多く発生する日本では、災害発生時に迅速に回復できる経済社会システムを構築することが重要です。

ハードの取組みは多く実施されていますが、ソフト面での取組みを評価して認証するのが、このレジリエンス認証制度です。

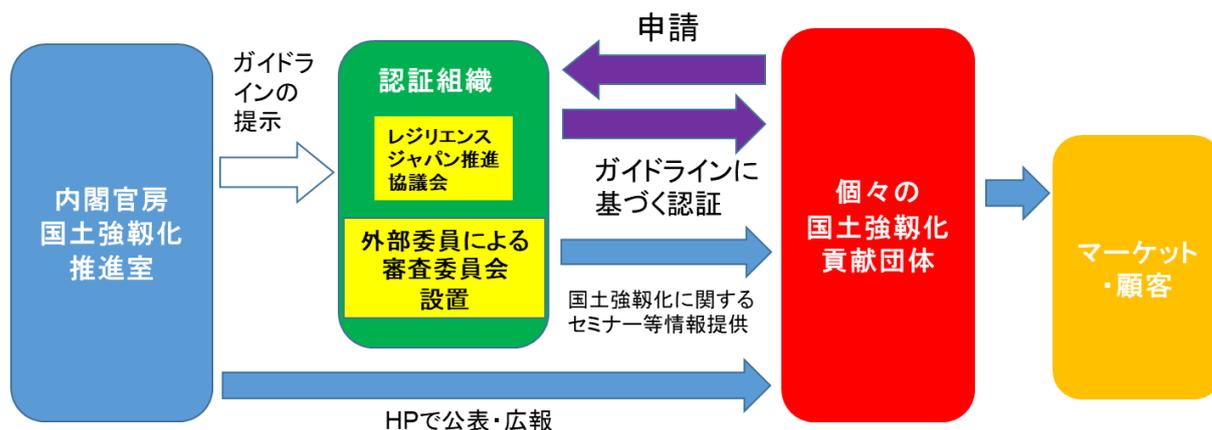
この制度は、国土強靱化の取組みの趣旨に賛同し、事業継続（自助）および社会貢献（共助）に積極的に取り組んでいる企業、団体等を「国土強靱化貢献団体」と呼び、ガイドラインに規定する要件に適合していることを確認し、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が認証する制度です。

1. レジリエンス認証の概要

政府（内閣官房国土強靱化推進室）は、大規模な災害発生等への備えとして事業継続に関する取組みを積極的に行う団体を認証する「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）制度」を2016年に創設しました。認証は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づいて行います。認証制度を普及することで、民間企業等の事業継続の積極的な取組みを広げ、社会全体の強靱化を進めることを目的としています。

認証取得団体は、内閣官房国土強靱化室のホームページで公表され、金融機関等の融資の優遇が受けられます。さらに社会全体に対して取組みに関しての信用力が増すことが期待されます。

レジリエンス認証制度の仕組み



2. 具体的な認証取得方法

レジリエンス認証の取得については、申請書を（一社）レジリエンスジャパン推進協議会のホームページよりダウンロードし、必要事項を記入して申請します。

申請後、一次審査（書類）、二次審査（面接）を得て審査委員会で適合・不適合を決めます。面接審査は対面とテレビ会議（Web）による面接が有り、全国どこからでも受けられます。

3. レジリエンス認証制度のフレームワーク

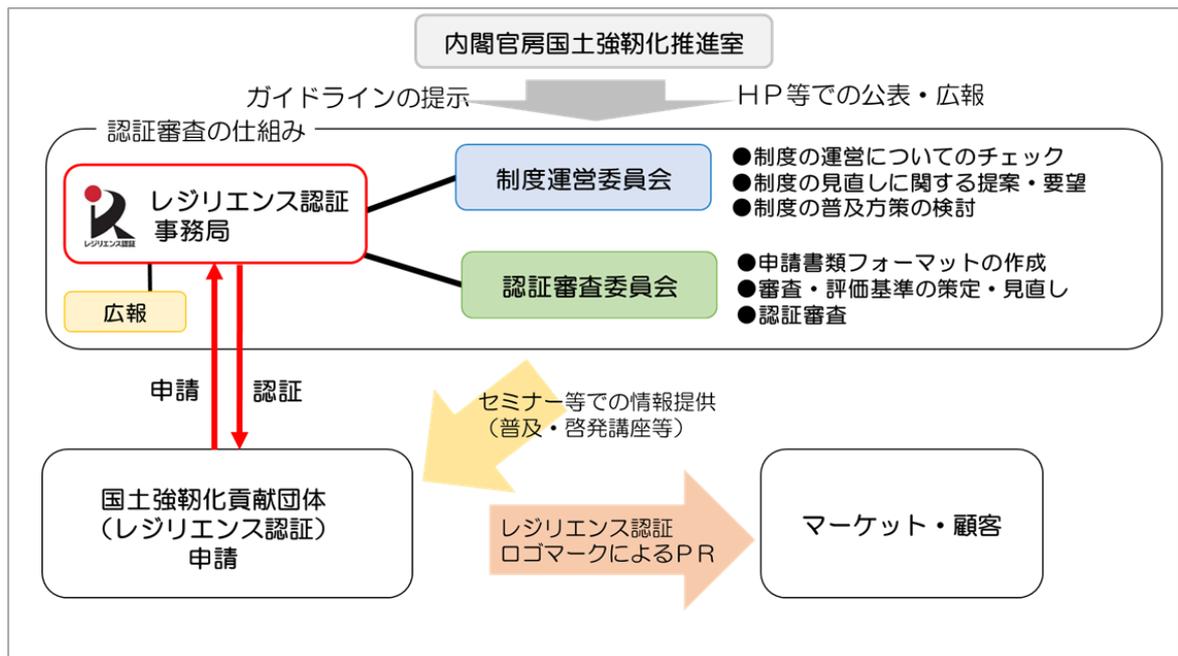
レジリエンス認証事務局は、認証組織として制度運営に係わる制度運営委員会と認証審査に係わる認証審査委員会を立ち上げ、それぞれの委員会の委員は外部の専門家に依頼して認証の透明性を高めております。

制度運営委員会は、認証に関する制度の見直し、チェックおよび制度の普及に関する方策の検討をします。

審査委員会は、審査、評価基準の策定見直し、および認証審査を年3回実施し、審査委員会を開催し、認証の適否を決定します。

事務局は申請書の受付、書類審査、面接審査ならびに各委員会を運営し、認証の適合団体に認証登録証を発行します。

レジリエンス認証制度のフレームワーク



4. レジリエンス認証の更新手続き方法

この制度の特徴として2年ごとの更新が有ります。事業継続に関する取り組みについては、マネジメントを廻すことが重要ですが、更新に関しては、その仕組みにも合致しています。更新の手続きは、2年間の取組みについて経営者のコメントを基に進められ審査の内容も簡便になっています。

5. レジリエンス認証取得によるメリット

- (1) 自らの事業継続に関する取り組みを専門家の目で評価してもらうことにより、事業継続の更なる改善へのヒントを得ることが、期待できます。
- (2) 交付を受けたレジリエンス認証ロゴマークを社員の名刺や広告等に付して、自社の事業継続のための積極的な姿勢を顧客や市場あるいは、世間一般に対してアピールすることが出来ます。
- (3) 推進協議会や内閣官房国土強靱化推進室のホームページに認証取得団体として公表されます。
- (4) 推進協議会より、国土強靱化に関するセミナー・シンポジウムに関する情報が優先的に配信されます。
- (5) 一部の金融機関で有利に扱われます。

6. おわりに

団体、企業において事業継続の取組みを進め、レジリエンス認証を取得することは、不測の事態への迅速な対応を可能にします。さらに企業価値の向上や、企業競争力の強化にもつながります。

ぜひ、貴団体、企業の事業継続について取組みをしていただきたいと思います。

◇一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 レジリエンス認証ホームページ

<http://www.resilience-jp.biz/certification/>

2016年度から開始したこの制度において既に200団体近くが認証を取得し、事業継続に取り組んでいます。

以 上